

令和2年度事業報告

【総括】

我が国を含む世界中で蔓延した新型コロナウイルス感染症に見舞われた令和2年度は、経済や人々の生活に大きな変容をもたらし、当センターにおいても年度当初の入会説明会や受注の一時停止、年間を通じた各種イベント等の中止などが会員数、受注件数及び配分金等、事業実績に少なからず影響を及ぼしました。

新型コロナウイルス感染症は収束の気配を見せず、今後も当面、感染症との共存下での効果的な事業運営の必要が見込まれます。

一方、令和2年度も、当センター「第3次基本計画」（令和元年3月策定）に掲げた取り組みを行い、委員会の再編、女性部会の創設及び女性役員就任など、会員の組織運営参画体制を強化することができました。

令和3年4月施行の改正高齢法では、70歳までの就業機会確保を企業の努力義務としており、シルバー人材センターにとっては逆風ではありますが、引き続き、センターの趣旨や目的を普及啓発し、生きがい就労を通じた高齢者の社会参加を促進する役割を担っていきます。

1 会員の状況と入会促進 ※各実績の（ ）は令和元年度

本年度は、事務局での通常の入会説明会の他、交流館へ出向いての「出張説明会」を実施しましたが、数年ぶりの会員増に転じた令和元年度から、令和2年度末の会員数は再度減少に転じました。

令和2年度新入会員の入会のきっかけでは、会員による紹介や口コミが57.1%（前年度45.9%）と最も多く、これは会員の皆さんによる声掛けの成果であると思われます。

一方、依然として退会者は多く、前年度を上回る状況となっています。

なお、小原支所においては目標会員数を上回る会員数を達成しています。

●会員数：2,159名（2,204名） 2.0%減 平均年齢74.1歳

男性1,454名（1,468名） 女性705名（736名）

●新入会者：252名（286名） 11.9%減 入会者の平均年齢69.6歳

男性189名（208名） 女性63名（78名）

●退会者：297名（266名） 11.7%増 退会者の平均年齢75.7歳

男性203名（182名） 女性94名（84名）

2 受注の状況と就業拡大 ※各実績の（ ）は令和元年度

(1) 請負・委任事業

年度当初の緊急事態宣言に伴う、受注の一時停止やイベントの中止が大きな影響を及ぼしました。特に、除草・剪定が主な依頼である一般家庭からの受注件数は、前年度と比較し500件余り減少(8.5%減)しました。

- 受注件数：6,559件(7,256件) 9.6%減
- 就業実人員：1,614人(1,684人) 4.2%減
- 配分金：644,892,507円(670,441,626円) 3.8%減

(2) 労働者派遣事業

市内全交流館の夜間管理業務、不燃物処分場「グリーン・クリーンふじの丘」(藤岡地区)での資源ごみ分別業務などが依然実績の多くを占めますが、小売・サービス業等からの派遣依頼は減少しました。

令和2年4月施行の改正労働者派遣法による「同一労働同一賃金」(派遣社員と派遣先正社員との不合理な待遇格差の解消)の導入による派遣先の負担増も要因と思われます。

- 受注件数：92件(99件) 7.1%減
- 就業実人員：265人(308人) 14.0%減
- 賃金：132,525,953円(139,900,653円) 5.3%減

(3) 有料職業紹介事業

会員としての就業ではありませんが、就業機会提供手段の一つとして、民間企業からの求人と就労を希望する高齢者を結びつける同事業では、事務所清掃、飲食店の調理補助などの仕事に12人の雇用が成立しました。

3 普及啓発活動

公共施設等へのパンフレットや機関紙「シルバーとよた」の発行、センターホームページによる情報提供、「広報とよた」での独自事業班が行う講習会開催記事の掲載などの他、センターのFacebook(フェイスブック)を立ち上げ、広く市民にセンターをPRしました。

令和2年度は各種イベントが軒並み中止となり、直接のPR活動はほぼ行うことができませんでした。

4 安全就業対策

安全・適正就業委員会による就業現場・事故発生現場の巡回、シルバーとよたや機関紙「みにみに」等での啓発活動などを通じ、事故の抑止を図りました。

本年度のシルバー保険対象事故は 19 件で、前年度に比べ 11 件減少しました。

(1) 傷害事故

事故の発生は前年度から減少し、重篤事故の発生はありませんでしたが、転落や転倒による骨折が 4 件発生しています。

●事故件数 計8件 (13件)

(2) 賠償事故

合計で 65 万円余り（前年度約 120 万円）の保険賠償額となりました。

事故件数は減少しましたが、約半数は依然草刈中の飛び石事故となっており、事故が発生する都度、謝罪や賠償のために直接・間接に多大な労力を要しているのが実態です。

●事故件数 計11件 (17件)

5 委員会活動

第 3 次基本計画の取り組みに沿い、従来の委員会構成を再編し、センターの課題に取り組みました。

(1) 常設委員会

ア 総務委員会（旧自主自立促進委員会）

- ・ 特定業務就業年限の見直し
- ・ 出張入会説明会（2 月・井郷交流館）
- ・ 会員アンケートの実施
- ・ 退会者抑制のためのゴールド会員制度の検討

イ 就業開拓委員会（旧共働共助促進委員会・顧客満足度向上促進委員会）

- ・ 就労意欲調査（1 月、70・75・80 歳の計 394 名対象）
- ・ 未就業会員アンケート実施（309 名）
- ・ 顧客満足度アンケート実施（478 件）
- ・ 企業訪問（11 月・トヨタテクニカルセンター下山）

ウ 安全・適正就業委員会（旧安全委員会）

- ・ 熱中症予防と交通安全講習会の開催（8 月・福祉センター）
- ・ 安全パトロール（委員会委員及び安全推進員、通年）
- ・ 県シ連パトロール随行
- ・ 安全就業基準の周知
- ・ 各班事故防止策の集約、周知
- ・ 刈払機ナイロンコードの使用規制

エ 普及促進委員会（旧広報委員会）

- ・機関紙「シルバーとよた」を編集、発行（9月・3月）

（2）非常設委員会等

ア 女性部会

- ・女性会員の拡大を目的に新設
- ・「おなか元気&美肌セミナー」（11月・豊田市福祉センター）
- ・「アロマバスソルト作りと笑み筋体操」（2月・前林交流館）

イ 配分金等検討特別委員会（総務委員会）

- ・令和3年度の配分金基準を検討

ウ 第3次基本計画推進委員会

- ・第3次基本計画の進捗について評価、協議

エ 設立40周年記念事業実行委員会

- ・オリジナルキャラクター名及び女性部会通称名公募
- ・40周年記念特別顕彰を企画
- ・事業部会にてアトラクション及び特別顕彰を企画
- ・記念誌部会にて記念誌を編集

オ 評定委員会

- ・会員の功労や不適切な行為に対する処遇の目安や決定基準等を検討
- ・実事例の評定

6 地域貢献活動

例年、各地区・地域班で小学校の環境美化・交流館祭や自治区催しの手伝いなどの地域活動（ボランティア活動）を実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、猿投北交流館での「観桃会/ふれあいまつり」1件を除き、全て中止となりました。

また、各支所における「シルバーの日」での環境美化活動も全て実施を見送りました。

7 技能講習等の開催、受講

作業の安全、接遇等、仕事に応じた講習の開催、及び外部機関での受講を促進しました。

- ・草刈講習会（6月・10名）
- ・草刈機の安全作業講習会（9月・6名）
- ・剪定講習会（9月・4名）

- ・ 交流館夜間管理会員接遇研修（3月・38名）
- ・ とよた市民活動センター会員接遇研修（3月・4名）
- ・ 刈払機取扱作業安全衛生教育講習（計10名）
- ・ 伐木等業務安全衛生特別教育講習（計5名）
- ・ ヘルパー養成講座（10月～11月・9名）

8 指定管理者制度に基づく施設管理

豊田市との協定に基づき引き続き12の施設を担い、施設管理や受付、清掃等の業務に会員120名余りが従事しました。

緑の公園及び小原トレーニングセンターについては公募を経て、令和3年度から引き続き5年間の指定を受けることができました。

9 会員有志によるサークル活動、サロン

当センターでは、会員の親睦や交流の機会を応援しています。

（1）「旅行クラブ」

80名余りが会員の旅行クラブでは、11月、23名の参加で山中温泉（石川）に出かけました。

（2）「一生会」（囲碁・将棋クラブ）

発足して2年目の「一生会」は、活動拠点である老人福祉センター豊寿園の利用制限があったため、浄水交流館にて3回開催しました。

（3）「サロンDEシルバーふじおか」

藤岡支所では従来、2ヶ月に1回、お茶とお喋りなどを楽しむ「サロンDEシルバーふじおか」を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため開催できませんでした。

令和2年度は、新たに石畳ふれあい広場にてマレットゴルフ大会を開催しました。（12月・3月）

（4）「さくらカフェ豊南」

豊南交流館で月に2回会員と一般市民の交流を図る「さくらカフェ豊南」は、新型コロナウイルス感染症予防のため開催を見送りました。

（5）フレッシュサロン小原

小原緑の公園で、会員同士の交流、新入会員の拡大及び施設の利用促進を目的に初めて開催しました。初回は脳トレなどで懇親を深めました。（12月・27名参加）